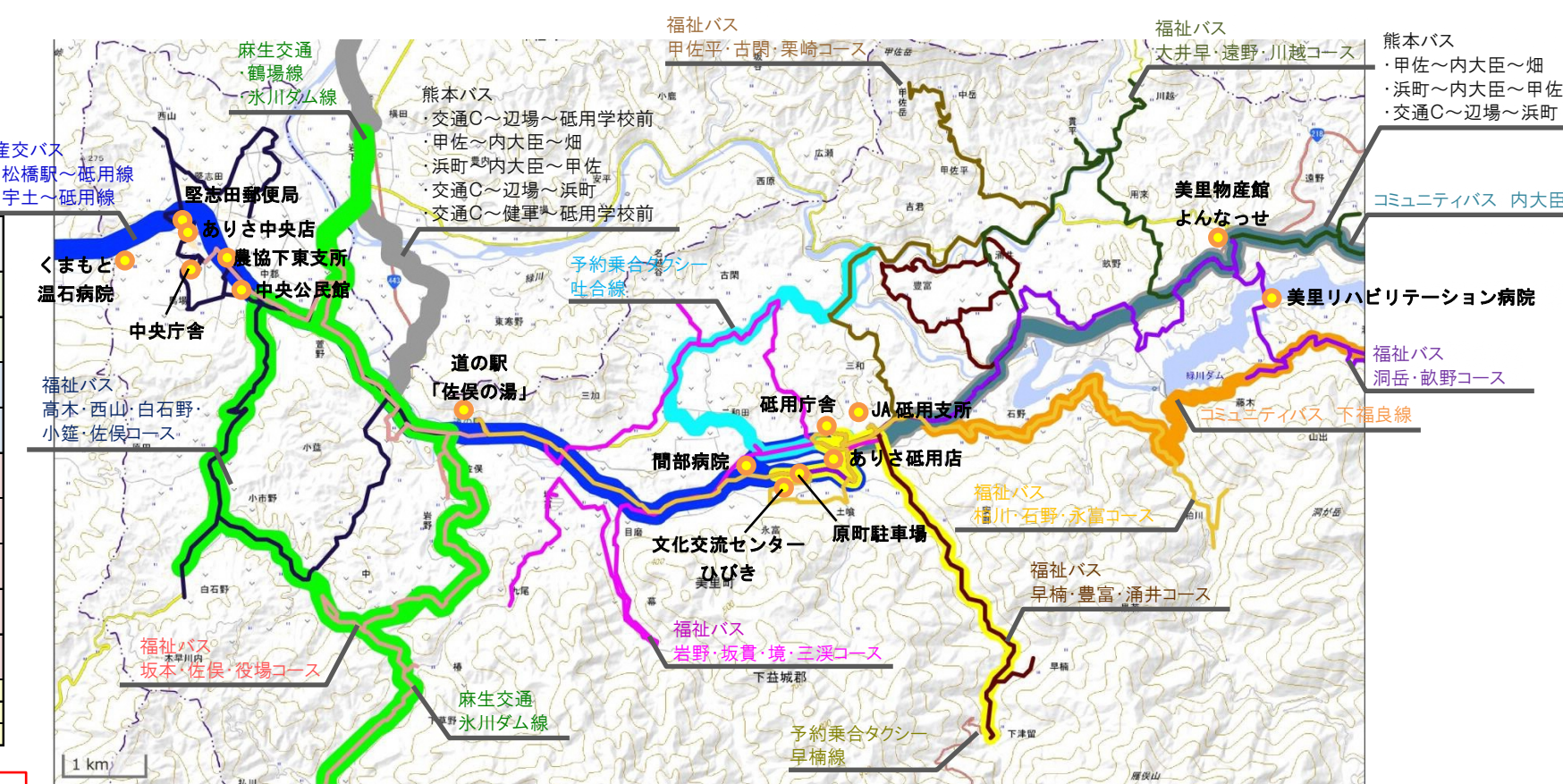


②域内交通と地域間幹線等の円滑なダイヤ接続

対象路線	シャトルバス	現状																																																																	
路線の現状	・拠点間の低い運行サービス 9：00～18：00の中央拠点～道の駅拠点における路線バスの運行本数は6.5往復で、平均で1時間20分に1往復といった低いサービス水準となっている。また、砥用拠点～東部地区拠点においては、平均で2時間に1往復といったさらに低水準な状況にある。	拠点間の運行本数：平日 9:00～18:00 <table><tr><th></th><th>9:00～18:00</th><th>中央拠点 ～ 道の駅拠点</th><th>道の駅拠点 ～ 砥用拠点</th><th>砥用拠点 ～ 東部拠点</th></tr><tr><td>麻生交通</td><td>氷川ダム線</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td></td><td>鶴場線</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>産交バス</td><td>松橋駅前～砥用中央線</td><td>6.5往復</td><td>6.5往復</td><td>—</td></tr><tr><td></td><td>宇土本町二～砥用中央線</td><td>0.0往復</td><td>0.0往復</td><td>—</td></tr><tr><td>熊本バス</td><td>交通C～辺場～砥用学校前線</td><td>—</td><td>3.5往復</td><td>—</td></tr><tr><td></td><td>甲佐～内大臣～畑線</td><td>—</td><td>0.0往復</td><td>0.0往復</td></tr><tr><td></td><td>浜町～内大臣～甲佐線</td><td>—</td><td>0.0往復</td><td>0.0往復</td></tr><tr><td></td><td>交通C～辺場～浜町</td><td>—</td><td>4.5往復</td><td>4.5往復</td></tr><tr><td></td><td>交通C～健軍～砥用学校前線</td><td>—</td><td>7.0往復</td><td>—</td></tr><tr><td>拠点間の運行本数</td><td></td><td>6.5往復</td><td>21.5往復</td><td>4.5往復</td></tr><tr><td>1時間当たり運行本数</td><td></td><td>0.7往復</td><td>2.4往復</td><td>0.5往復</td></tr><tr><td>運行間隔</td><td></td><td>1h23min</td><td>25min</td><td>2h</td></tr></table> 拠点間の低い運行サービス 		9:00～18:00	中央拠点 ～ 道の駅拠点	道の駅拠点 ～ 砥用拠点	砥用拠点 ～ 東部拠点	麻生交通	氷川ダム線	—	—	—		鶴場線	—	—	—	産交バス	松橋駅前～砥用中央線	6.5往復	6.5往復	—		宇土本町二～砥用中央線	0.0往復	0.0往復	—	熊本バス	交通C～辺場～砥用学校前線	—	3.5往復	—		甲佐～内大臣～畑線	—	0.0往復	0.0往復		浜町～内大臣～甲佐線	—	0.0往復	0.0往復		交通C～辺場～浜町	—	4.5往復	4.5往復		交通C～健軍～砥用学校前線	—	7.0往復	—	拠点間の運行本数		6.5往復	21.5往復	4.5往復	1時間当たり運行本数		0.7往復	2.4往復	0.5往復	運行間隔		1h23min	25min	2h
	9:00～18:00	中央拠点 ～ 道の駅拠点	道の駅拠点 ～ 砥用拠点	砥用拠点 ～ 東部拠点																																																															
麻生交通	氷川ダム線	—	—	—																																																															
	鶴場線	—	—	—																																																															
産交バス	松橋駅前～砥用中央線	6.5往復	6.5往復	—																																																															
	宇土本町二～砥用中央線	0.0往復	0.0往復	—																																																															
熊本バス	交通C～辺場～砥用学校前線	—	3.5往復	—																																																															
	甲佐～内大臣～畑線	—	0.0往復	0.0往復																																																															
	浜町～内大臣～甲佐線	—	0.0往復	0.0往復																																																															
	交通C～辺場～浜町	—	4.5往復	4.5往復																																																															
	交通C～健軍～砥用学校前線	—	7.0往復	—																																																															
拠点間の運行本数		6.5往復	21.5往復	4.5往復																																																															
1時間当たり運行本数		0.7往復	2.4往復	0.5往復																																																															
運行間隔		1h23min	25min	2h																																																															
再編の内容	・地区拠点間を結ぶデマンド交通を運行 路線バスを補う形で地区拠点間を結ぶデマンド交通（路線不定期運行）を運行し、地区拠点間の円滑な移動の確保を図る。	再編後																																																																	
運行範囲	中央拠点～道の駅拠点～砥用拠点～東部拠点間を運行するもの																																																																		
運行距離（最大距離）	16.2 km																																																																		
主たる経由地	堅志田郵便局、道の駅佐俣の湯、原町駐車場、美里物産館よんなっせ																																																																		
幹線への接続	—																																																																		
事業主体	未定																																																																		
事業形態	路線不定期運行																																																																		
使用車両	ジャンボ又はセダン型タクシー																																																																		
運行日	月～金曜日の平日																																																																		
運行時間帯	9:00～16:30																																																																		
運賃	均一運賃制：100 円	運行本数の追加による利便性の向上 [運行回数](区域運行) 平日:中央拠点～道の駅拠点 10.0 往復(設定)、道の駅拠点～砥用拠点 25.0 往復(設定)、砥用拠点～東部拠点 8.0 往復(設定)																																																																	

事業費と調達方法 運行経費 : ●●千円 事業収入 : ●●千円 必要な費用 : ●●千円 [町負担 : ●●千円] ※ 国庫補助額については現時点の見込額であり、記載のとおり調達されない場合、現状と同様のサービス水準を本計画の実施主体である美里町と関係者が調整を図るものとする。	事業の効果 ・公共交通のわかりやすさ、利便性の向上 ・運行効率性、事業持続性の向上 事業の目標 ・公共交通の利便性の向上（利用者数の増加） ・運行効率性、事業持続性の向上（町の財政負担額の減少）
補助要件 —	備考 ・中央拠点、道の駅拠点、砥用拠点、東部拠点において、美里バスとの接続をとる。

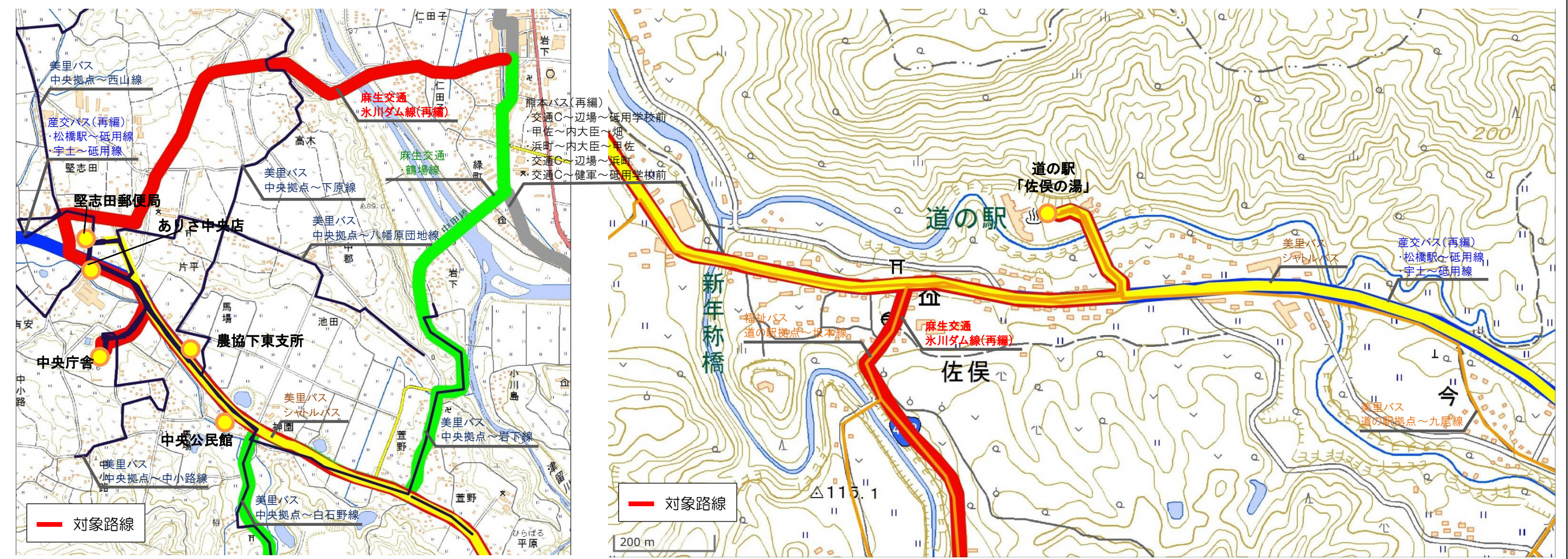
③町外との移動を担い地区拠点間を結ぶ路線バスの維持

対象路線		氷川ダム線	
路線の現状			
・公共交通空白地域の存在			
中央小学校の北西部の複数地区は公共交通空白地域となっている。また、西山地区から「中央地区の商業施設や甲佐町の商業施設へのアクセスを確保してほしい」との意見が上がっている。			
再編の内容			
・公共交通空白地域の解消			
「路線の一部を変更し、中央小学校北西部を運行することで、公共交通空白地域の解消を図る。」			
運行区間	甲佐～佐俣～氷川ダム		
運行距離	19.2km		
主たる経由地	堅志田郵便局、中央中学校、道の駅佐俣の湯		
幹線への接続	—		
事業主体	(株)麻生交通		
事業形態	路線定期運行		
使用車両	中型バス		
運行日	毎日		
運行時間帯	次ページ参照		
運賃	対距離運賃制 (次ページ参照)		

現状	
[運行回数] 平日・土曜:5.5 往復、日・祝:4.5 往復	

再編後	
[運行回数] 平日・土曜:5.5 往復、日・祝:4.5 往復	

再編後 拡大図



事業費と調達方法

運行経費	:	●●千円
事業収入	:	●●千円
必要な費用	:	●●千円
甲佐町負担	:	●●千円
八代市負担	:	●●千円
美里町負担	:	●●千円

※ 国庫補助額については現時点の見込額であり、記載のとおり調達されない場合、現状と同様のサービス水準を本計画の実施主体である美里町と関係者が調整を図るものとする。

補助要件

—

事業の効果

- 「①-2 町外移動を担う路線の年間利用者数」の維持：0.6 万人/年維持
- 「③各地区拠点のバス停留所の乗車人員数」の維持
- (その他)
 - ・ 公共交通空白地域の解消

事業の目標

- ・ 公共交通ネットワーク・サービスの維持

備考

—

■運行時間帯

▼麻生交通の運行本数：上段/平日・土曜、下段/日祝

系統	上・下	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
甲佐～佐俣～氷川ダム	上り		1	1		1		1				1		1							5	氷川ダム
	下り		1		1		1	1	1				1	1							6	熊本バス営業所
甲佐～白石野～鶴場	上り		1			1		1													3	鶴場
	下り					1		1					1								3	熊本バス営業所

※甲佐方面を上りとして計上している。

系統	上・下	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
甲佐～佐俣～氷川ダム	上り			1		1		1				1									4	氷川ダム
	下り				1		1	1	1				1	1							5	熊本バス営業所
甲佐～白石野～鶴場	上り					1		1													2	鶴場
	下り							1					1								2	熊本バス営業所

※甲佐方面を上りとして計上している。

資料：美里町提供資料

■運賃

▼甲佐・佐俣・氷川ダム線の主要バス停間運賃

							(円)
						熊本バス 営業所	
					中学校 入口	100	
				佐 俣 宮の前	100	200	
			小岩野	100	100	200	
		払 川	200	300	300	400	
	石 段	100	300	300	400	500	
氷川ダム	200	100	300	400	400	500	

出典：麻生交通提供資料

対象路線		鶴場線	現状  【運行回数】 平日・土曜:3 往復、日・祝:2 往復
路線の現状		・主に朝夕の小中学生の通学に利用 鶴場線は白石野地区の小中学生の通学に利用されており、小中学生の通学を支える重要な路線となっている。	
再編の内容		・現状のサービス水準を維持する。 小中学生の通学を支える重要な路線であることから現状のサービスを維持する。	
運行区間	甲佐～白石野～鶴場		
運行距離	10.9km		
主たる経由地	中央中学校		
幹線への接続	—		
事業主体	(株)麻生交通		
事業形態	路線定期運行		
使用車両	中型バス		
運行日	毎日		
運行時間帯	次ページ参照		
運賃	対距離運賃制 (次ページ参照)		
事業費と調達方法			事業費と調達方法 運行経費 : ●●千円 事業収入 : ●●千円 必要な費用 : ●●千円 〔 甲佐町負担 : ●●千円 美里町負担 : ●●千円 〕 ※ 国庫補助額については現時点の見込額であり、記載のとおり調達されない場合、現状と同様のサービス水準を本計画の実施主体である美里町と関係者が調整を図るものとする。
補助要件			—
事業の効果			事業の効果 ■「①-2 町外移動を担う路線の年間利用者数」の維持：0.4 万人/年維持
事業の目標			事業の目標 ・公共交通ネットワーク・サービスの維持
備考			—

■運行時間帯

▼麻生交通の運行本数：上段/平日・土曜、下段/日祝

系統	上・下	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
甲佐～佐保～氷川ダム	上り		1	1		1		1				1		1							5	氷川ダム
	下り		1		1		1		1				1	1							6	熊本バス営業所
甲佐～白石野～鶴場	上り		1			1		1													3	鶴場
	下り					1		1					1								3	熊本バス営業所

※甲佐方面を上りとして計上している。

系統	上・下	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
甲佐～佐保～氷川ダム	上り			1		1		1				1									4	氷川ダム
	下り				1		1		1				1	1							5	熊本バス営業所
甲佐～白石野～鶴場	上り					1		1													2	鶴場
	下り								1				1								2	熊本バス営業所

※甲佐方面を上りとして計上している。

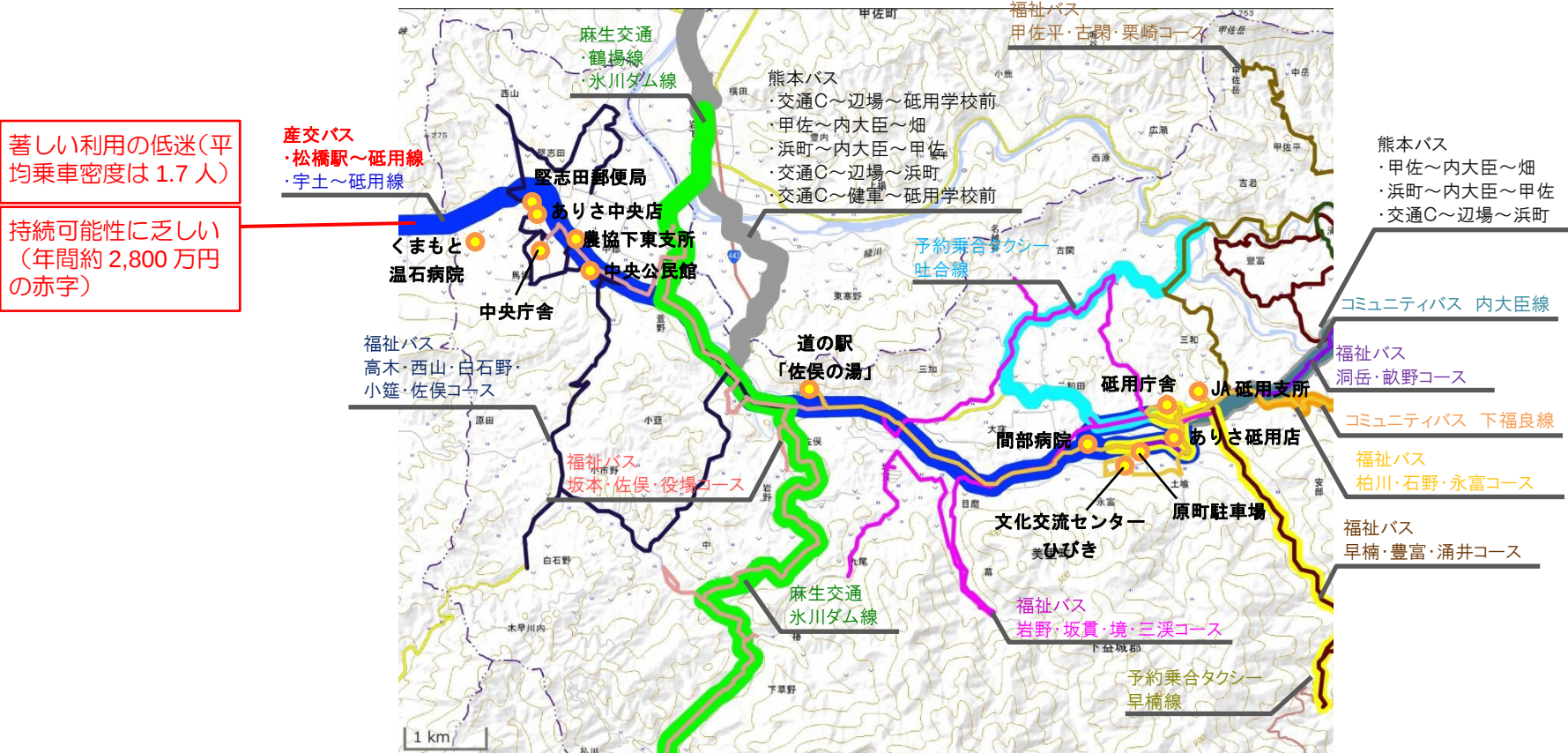
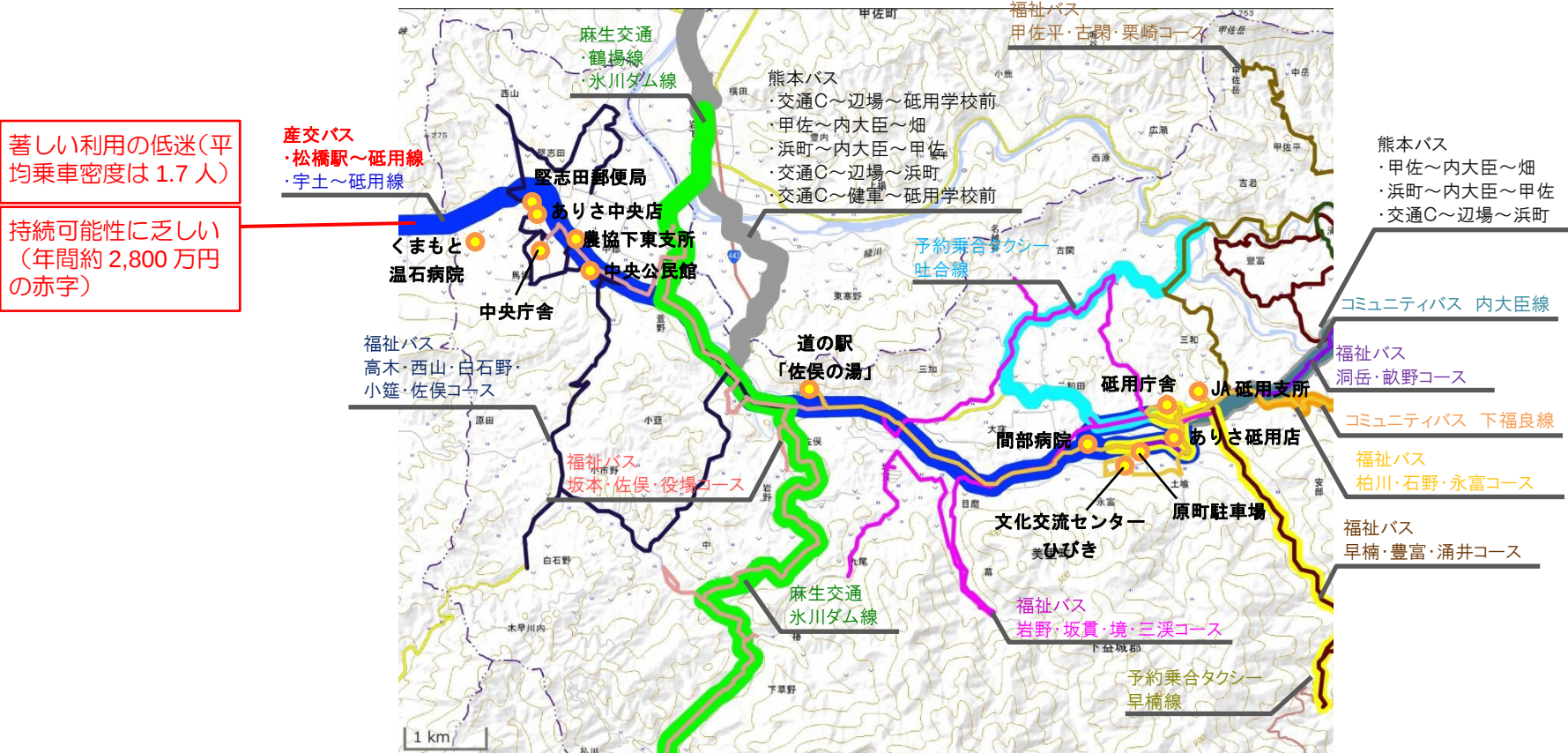
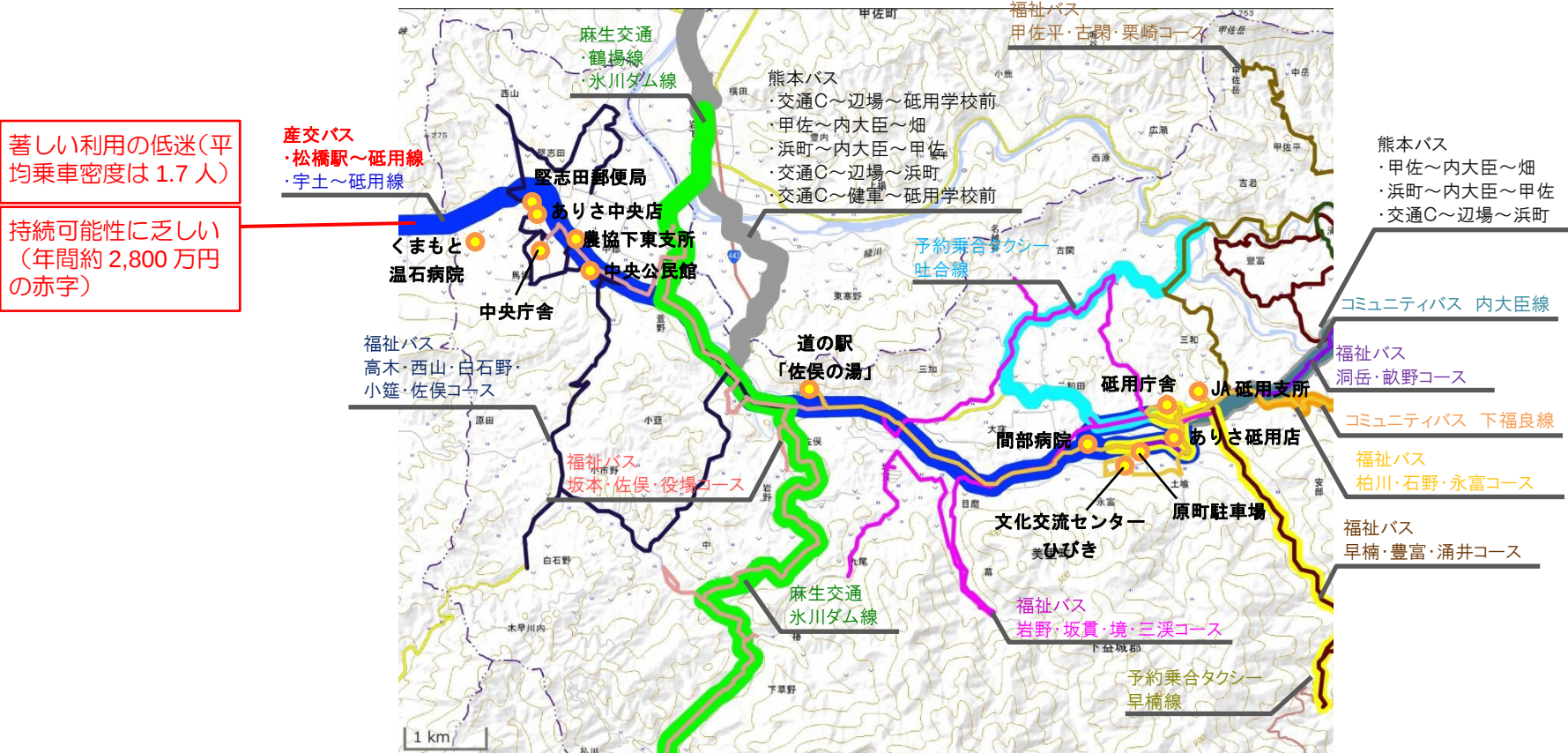
資料：美里町提供資料

■運賃

▼甲佐・白石野・鶴場線の主要バス停間運賃

(円)			
			熊本バス 営業所
			100
			100
			200
			300
			200
			300
			300
白石野	100	200	300

出典：麻生交通提供資料

<table><tr><td data-bbox="163 142 296 1927">対象路線</td><td data-bbox="296 142 632 1927">松橋駅前～砥用中央線</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 191 296 562">路線の現状</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 233 296 258">・ 著しい利用の低迷</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 258 296 352">当該路線の輸送量は18.1人と少ない。特に平均乗車密度は1.7人と乗合の体をなしていない。</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 380 296 405">・ 持続可能性に乏しい</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 405 296 510">当該路線は毎年約2,800万円の赤字が発生しており、さらなる収支の改善が求められる。</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 569 296 594">再編の内容</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 604 296 630">・ 減便による運行効率化</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 630 296 703">利用状況に応じて減便を行い、運行効率化を図る。</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 730 296 756">・ 地区拠点への乗り入れによる美里バスとの円滑なネットワークの形成</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 756 296 909">路線の一部を変更し、中央拠点、道の駅拠点への乗り入れを行うことで、美里バス等との円滑なネットワークの形成を図る。</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1045 296 1071">運行区間</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1071 296 1096">松橋駅前～砥用中央</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1123 296 1148">運行距離</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1148 296 1173">22.9km</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1201 296 1274">主たる経由地</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1201 296 1274">堅志田郵便局、道の駅佐俣の湯、原町駐車場</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1281 296 1354">幹線への接続</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1281 296 1354">—</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1381 296 1407">事業主体</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1407 296 1432">産交バス(株)</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1459 296 1484">事業形態</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1484 296 1509">路線定期運行</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1537 296 1562">使用車両</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1562 296 1587">中型バス</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1614 296 1640">運行日</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1640 296 1665">毎日</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1692 296 1717">運行時間帯</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1717 296 1743">次ページ参照</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1770 296 1795">運賃</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 1795 296 1927">対距離運賃制 (次ページ参照)</td></tr></table>	対象路線	松橋駅前～砥用中央線	路線の現状		・ 著しい利用の低迷		当該路線の輸送量は18.1人と少ない。特に平均乗車密度は1.7人と乗合の体をなしていない。		・ 持続可能性に乏しい		当該路線は毎年約2,800万円の赤字が発生しており、さらなる収支の改善が求められる。		再編の内容		・ 減便による運行効率化		利用状況に応じて減便を行い、運行効率化を図る。		・ 地区拠点への乗り入れによる美里バスとの円滑なネットワークの形成		路線の一部を変更し、中央拠点、道の駅拠点への乗り入れを行うことで、美里バス等との円滑なネットワークの形成を図る。		運行区間		松橋駅前～砥用中央		運行距離		22.9km		主たる経由地		堅志田郵便局、道の駅佐俣の湯、原町駐車場		幹線への接続		—		事業主体		産交バス(株)		事業形態		路線定期運行		使用車両		中型バス		運行日		毎日		運行時間帯		次ページ参照		運賃		対距離運賃制 (次ページ参照)		<table><tr><td data-bbox="632 142 727 1927">現状</td><td data-bbox="727 142 2864 987"> 著しい利用の低迷(平均乗車密度は1.7人) 持続可能性に乏しい(年間約2,800万円の赤字) </td></tr><tr><td data-bbox="632 987 727 1039">[運行回数]</td><td data-bbox="727 987 2864 1039">平日:11 往復、土曜:11 往復、日・祝:10 往復</td></tr><tr><td data-bbox="632 1039 727 1927">再編後</td><td data-bbox="727 1039 2864 1927"> 一部区間の路線の見直し 道駅拠点への乗り入れ </td></tr><tr><td data-bbox="632 1927 727 1980">[運行回数]</td><td data-bbox="727 1927 2864 1980">平日:11 往復、土曜:11 往復、日・祝:10 往復</td></tr></table>	現状	 著しい利用の低迷(平均乗車密度は1.7人) 持続可能性に乏しい(年間約2,800万円の赤字)	[運行回数]	平日:11 往復、土曜:11 往復、日・祝:10 往復	再編後	 一部区間の路線の見直し 道駅拠点への乗り入れ	[運行回数]	平日:11 往復、土曜:11 往復、日・祝:10 往復
対象路線	松橋駅前～砥用中央線																																																																						
路線の現状																																																																							
・ 著しい利用の低迷																																																																							
当該路線の輸送量は18.1人と少ない。特に平均乗車密度は1.7人と乗合の体をなしていない。																																																																							
・ 持続可能性に乏しい																																																																							
当該路線は毎年約2,800万円の赤字が発生しており、さらなる収支の改善が求められる。																																																																							
再編の内容																																																																							
・ 減便による運行効率化																																																																							
利用状況に応じて減便を行い、運行効率化を図る。																																																																							
・ 地区拠点への乗り入れによる美里バスとの円滑なネットワークの形成																																																																							
路線の一部を変更し、中央拠点、道の駅拠点への乗り入れを行うことで、美里バス等との円滑なネットワークの形成を図る。																																																																							
運行区間																																																																							
松橋駅前～砥用中央																																																																							
運行距離																																																																							
22.9km																																																																							
主たる経由地																																																																							
堅志田郵便局、道の駅佐俣の湯、原町駐車場																																																																							
幹線への接続																																																																							
—																																																																							
事業主体																																																																							
産交バス(株)																																																																							
事業形態																																																																							
路線定期運行																																																																							
使用車両																																																																							
中型バス																																																																							
運行日																																																																							
毎日																																																																							
運行時間帯																																																																							
次ページ参照																																																																							
運賃																																																																							
対距離運賃制 (次ページ参照)																																																																							
現状	 著しい利用の低迷(平均乗車密度は1.7人) 持続可能性に乏しい(年間約2,800万円の赤字)																																																																						
[運行回数]	平日:11 往復、土曜:11 往復、日・祝:10 往復																																																																						
再編後	 一部区間の路線の見直し 道駅拠点への乗り入れ																																																																						
[運行回数]	平日:11 往復、土曜:11 往復、日・祝:10 往復																																																																						

運行経費	:	●●千円	
事業収入	:	●●千円	
必要な費用	:	●●千円	
（国負担	:	●●千円	）
宇城市負担	:	●●千円	
美里町負担	:	●●千円	

※ 国庫補助額については現時点の見込額であり、記載のとおり調達されない場合、現状と同様のサービス水準を本計画の実施主体である美里町と関係者が調整を図るものとする。

- 「①-2 町外移動を担う路線の年間利用者数」の維持：4.8 万人/年維持
- 「③各地区拠点のバス停留所の乗車人員数」の維持

(その他)

- ・運行効率性の向上

- ・公共交通ネットワーク・サービスの維持

堅志田
美里バス
中央拠点～西山線

堅志田郵便局

麻生交通
・鶴場線
・氷川谷線

美里バス
中央拠点～八幡原団地線

ありさ中央店

片平

美里バス
シャトルバス

美里バス
中央拠点～下原

馬場

農協下東支所

中央庁舎
79.6
美里バス
中央拠点～中小路線

有安

美里バス
中央拠点～有安線

くまもと
温石病院

ばる原

産交バス(再編)
・松橋駅～砥用線
・宇土～砥用線

大沢水

対象路線

200 m



■運行時間帯

▼産交バスの運行本数：上段/平日、中段/土曜、下段/日祝

系統	上・下	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
松橋駅前～砥用中央	上り	2	1	1	1		1	1	1		1		1	1							11	砥用中央
	下り		1	1		1	1	1	1		1	1	1	2							11	松橋駅
宇土本町二～砥用中央	上り	1																			1	砥用中央
	下り														1						1	松橋駅

※宇城市方面を上りとして計上している。

系統	上・下	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
松橋駅前～砥用中央	上り	1	1	1	1		1	1	1		1	1	1	1							11	砥用中央
	下り			1		1	1	1	1		1	1	2	1	1						11	松橋駅
宇土本町二～砥用中央	上り	1																			1	砥用中央
	下り		1																		1	松橋駅

※宇城市方面を上りとして計上している。

系統	上・下	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
松橋駅前～砥用中央	上り	1	1	1	1		1	1	1		1	1	1								10	砥用中央
	下り		1	1	1		1	1	1		1	1	1	1							10	松橋駅
宇土本町二～砥用中央	上り																				0	砥用中央
	下り																				0	松橋駅

※宇城市方面を上りとして計上している。

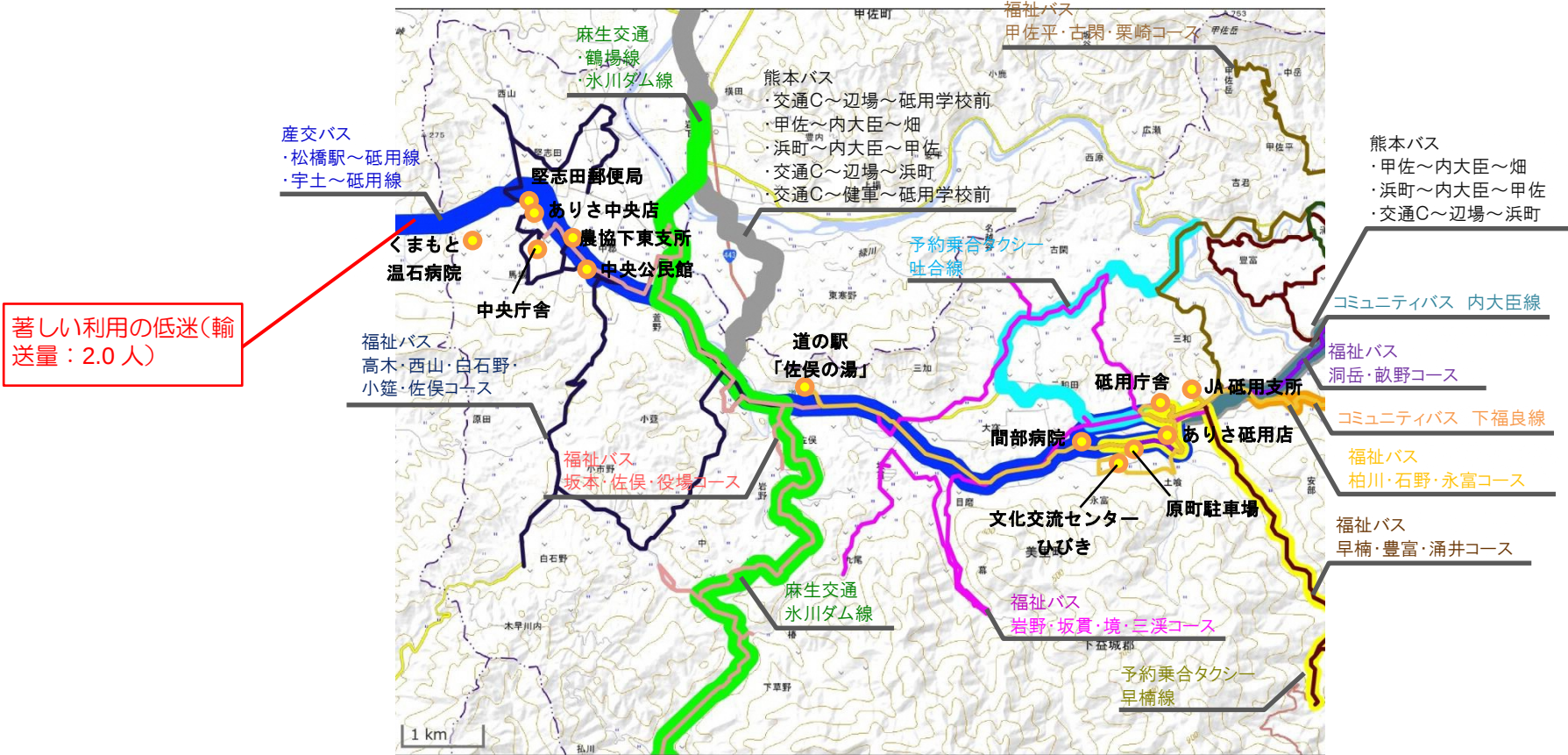
資料：産交バスホームページ

■運賃

▼産交バスの主要バス停間運賃

						(円)
					宇土本町二丁目	
					松橋駅前	220
				松橋産交	150	220
			温石病院入口	430	430	570
		堅志田(旧道)	150	460	460	610
	佐俣の湯前	260	300	600	600	740
砥用中央	260	440	480	750	750	890

資料：産交バスホームページ

<table><tr><td>対象路線</td><td>宇土本町二～砥用中央線</td></tr><tr><td>路線の現状</td><td> ・ 著しい利用の低迷 当該路線の輸送量は2.0人と僅かとなっている。 ・ 持続可能性に乏しい 当該路線は毎年約240万円の赤字が発生しており、さらなる収支の改善が求められる </td></tr><tr><td>再編の内容</td><td> ・ 地区拠点への乗り入れによる美里バスとの円滑なネットワークの形成 路線の一部を変更し、中央拠点への乗り入れを行うことで、美里バス等との円滑なネットワークの形成を図る。 ・ 現状のサービス水準を維持 運行回数については現状のサービス水準を維持する。 </td></tr></table>	対象路線	宇土本町二～砥用中央線	路線の現状	・ 著しい利用の低迷 当該路線の輸送量は2.0人と僅かとなっている。 ・ 持続可能性に乏しい 当該路線は毎年約240万円の赤字が発生しており、さらなる収支の改善が求められる	再編の内容	・ 地区拠点への乗り入れによる美里バスとの円滑なネットワークの形成 路線の一部を変更し、中央拠点への乗り入れを行うことで、美里バス等との円滑なネットワークの形成を図る。 ・ 現状のサービス水準を維持 運行回数については現状のサービス水準を維持する。	現状  [運行回数] 平日:1 往復、土曜:1 往復														
対象路線	宇土本町二～砥用中央線																				
路線の現状	・ 著しい利用の低迷 当該路線の輸送量は2.0人と僅かとなっている。 ・ 持続可能性に乏しい 当該路線は毎年約240万円の赤字が発生しており、さらなる収支の改善が求められる																				
再編の内容	・ 地区拠点への乗り入れによる美里バスとの円滑なネットワークの形成 路線の一部を変更し、中央拠点への乗り入れを行うことで、美里バス等との円滑なネットワークの形成を図る。 ・ 現状のサービス水準を維持 運行回数については現状のサービス水準を維持する。																				
<table><tr><td>運行区間</td><td>宇土本町二～砥用中央</td></tr><tr><td>運行距離</td><td>27.2km</td></tr><tr><td>主たる経由地</td><td>堅志田郵便局、道の駅 佐俣の湯、原町駐車場</td></tr><tr><td>幹線への接続</td><td>—</td></tr><tr><td>事業主体</td><td>産交バス(株)</td></tr><tr><td>事業形態</td><td>路線定期運行</td></tr><tr><td>使用車両</td><td>中型バス</td></tr><tr><td>運行日</td><td>平日、土曜日</td></tr><tr><td>運行時間帯</td><td>次ページ参照</td></tr><tr><td>運賃</td><td>対距離運賃制 (次ページ参照)</td></tr></table>	運行区間	宇土本町二～砥用中央	運行距離	27.2km	主たる経由地	堅志田郵便局、道の駅 佐俣の湯、原町駐車場	幹線への接続	—	事業主体	産交バス(株)	事業形態	路線定期運行	使用車両	中型バス	運行日	平日、土曜日	運行時間帯	次ページ参照	運賃	対距離運賃制 (次ページ参照)	再編後  [運行回数] 平日:1 往復、土曜:1 往復
運行区間	宇土本町二～砥用中央																				
運行距離	27.2km																				
主たる経由地	堅志田郵便局、道の駅 佐俣の湯、原町駐車場																				
幹線への接続	—																				
事業主体	産交バス(株)																				
事業形態	路線定期運行																				
使用車両	中型バス																				
運行日	平日、土曜日																				
運行時間帯	次ページ参照																				
運賃	対距離運賃制 (次ページ参照)																				

運行経費	:	●●千円	
事業収入	:	●●千円	
必要な費用	:	●●千円	
国負担	:	●●千円	)
宇城市負担	:	●●千円	
美里町負担	:	●●千円	

※ 国庫補助額については現時点の見込額であり、記載のとおり調達されない場合、現状と同様のサービス水準を本計画の実施主体である美里町と関係者が調整を図るものとする。

- 「①-2 町外移動を担う路線の年間利用者数」の維持：0.5 万人/年維持
- 「③各地区拠点のバス停留所の乗車人員数」の維持

- ・公共交通ネットワーク・サービスの維持

堅志田
美里バス
中央拠点～西山線

堅志田郵便局

麻生交通
・鶴場線
・氷川ダム線

美里バス
中央拠点～八幡原団地線

ありさ中央店

片平

美里バス
シャトルバス

美里バス
中央拠点～下原線

馬場

農協下東支所

中央庁舎
79.6
美里バス
中央拠点～中小路線

有安

美里バス
中央拠点～有安線

くまもと
温石病院

ばる原

大沢水

対象路線

産交バス(再編)
・松橋駅～砥用線
・宇土～砥用線

200 m

■運行時間帯

▼産交バスの運行本数：上段/平日、中段/土曜、下段/日祝

系統	上・下	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
松橋駅前～砥用中央	上り	2	1	1	1		1	1	1		1		1	1							11	砥用中央
	下り		1	1		1	1	1	1		1	1	1	2							11	松橋駅
宇土本町二～砥用中央	上り	1																			1	砥用中央
	下り														1						1	松橋駅

※宇城市方面を上りとして計上している。

系統	上・下	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
松橋駅前～砥用中央	上り	1	1	1	1		1	1	1		1	1	1	1							11	砥用中央
	下り			1		1	1	1	1		1	1	2	1	1						11	松橋駅
宇土本町二～砥用中央	上り	1																			1	砥用中央
	下り		1																		1	松橋駅

※宇城市方面を上りとして計上している。

系統	上・下	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
松橋駅前～砥用中央	上り	1	1	1	1		1	1	1		1	1	1								10	砥用中央
	下り		1	1	1		1	1	1		1	1	1	1							10	松橋駅
宇土本町二～砥用中央	上り																				0	砥用中央
	下り																				0	松橋駅

※宇城市方面を上りとして計上している。

資料：産交バスホームページ

■運賃

▼産交バスの主要バス停間運賃

						(円)
					宇土本町二丁目	
					松橋駅前	220
				松橋産交	150	220
			温石病院入口	430	430	570
		堅志田(旧道)	150	460	460	610
	佐俣の湯前	260	300	600	600	740
砥用中央	260	440	480	750	750	890

資料：産交バスホームページ

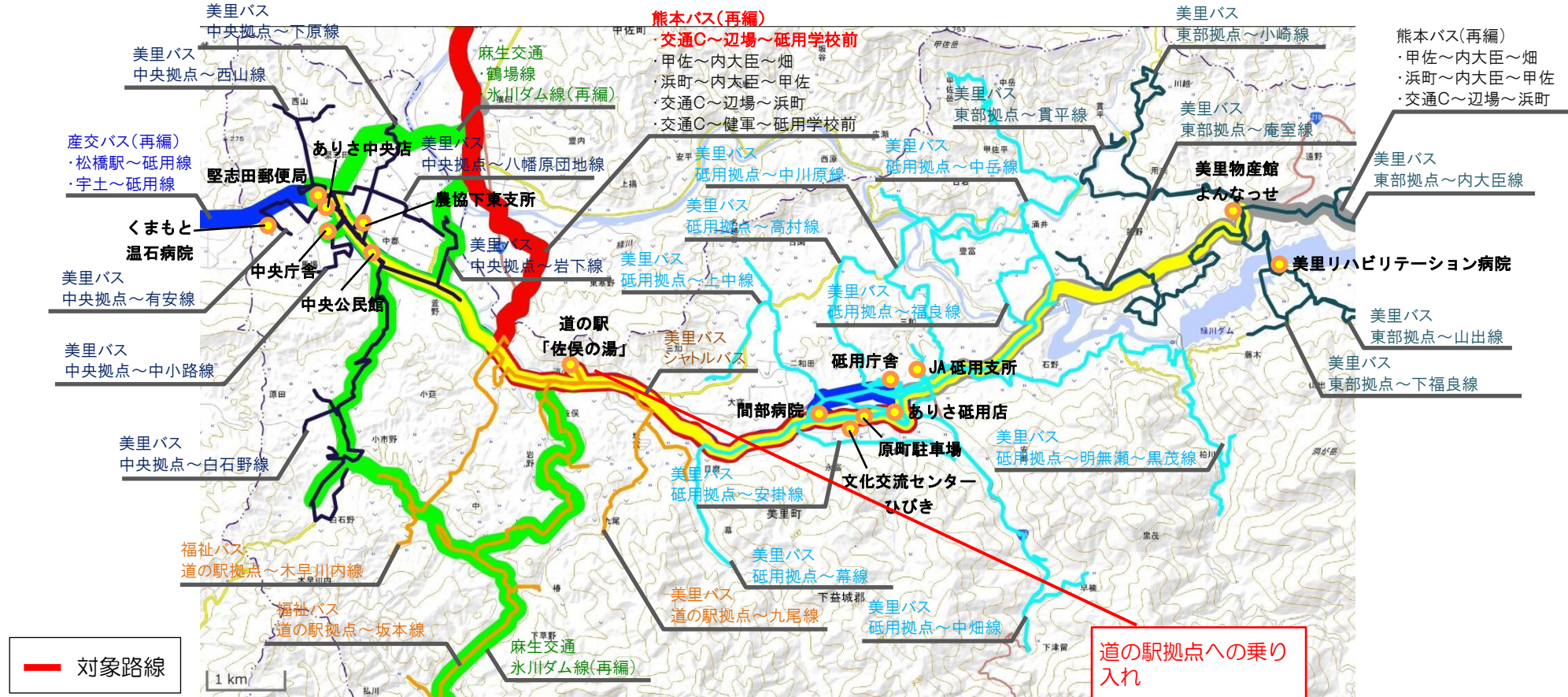
対象路線	交通 C～辺場～砥用学校前線
路線の現状	・利用の低迷 当該路線の輸送量は17.1人と少ない。特に平均乗車密度は3.9人と少ない。 ・持続可能性に乏しい 当該路線は毎年約1,150万円の赤字が発生しており、さらなる収支の改善が求められる
再編の内容	・地区拠点への乗り入れによる美里バスとの円滑なネットワークの形成 路線の一部を変更し、道の駅拠点への乗り入れを行うことで、美里バス等との円滑なネットワークの形成を図る。 ・現状のサービス水準を維持 運行回数については現状のサービス水準を維持する。
運行区間	交通 C～辺場～砥用学校前
運行距離	33.4km
主たる経由地	道の駅佐俣の湯、原町駐車場
幹線への接続	—
事業主体	熊本バス(株)
事業形態	路線定期運行
使用車両	中型バス
運行日	毎日
運行時間帯	次ページ参照
運賃	対距離運賃制 (次ページ参照)

現状



【運行回数】 平日:8 往復、土・日・祝:4.5 往復

再編後



【運行回数】 平日:8 往復、土・日・祝:4.5 往復



事業費と調達方法

運行経費	:	●●千円
事業収入	:	●●千円
必要な費用	:	●●千円
国負担	:	●●千円
熊本市負担	:	●●千円
嘉島町負担	:	●●千円
御船町負担	:	●●千円
甲佐町負担	:	●●千円
美里町負担	:	●●千円

※ 国庫補助額については現時点の見込額であり、記載のとおり調達されない場合、現状と同様のサービス水準を本計画の実施主体である美里町と関係者が調整を図るものとする。

補助要件

—

事業の効果

- 「①-2 町外移動を担う路線の年間利用者数」の維持：7.3 万人/年維持
- 「③各地区拠点のバス停留所の乗車人員数」の維持

事業の目標

- ・ 公共交通ネットワーク・サービスの維持

備考

—

■運行時間帯

▼熊本バスの運行本数：平日

系統	上・下	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
交通C～辺場～砥用学校前	上り		2	1	1	1	1		1		1		1	1	1	1						12	砥用学校前バス停
	下り				1			1								1	1					4	交通センター
甲佐～内大臣～畑	上り																					0	ー
	下り		2																			2	甲佐バス停
浜町～内大臣～甲佐	上り				1																	1	浜町バス停
	下り																					0	ー
交通C～辺場～浜町	上り		1	1			1			1			1	1	1							7	浜町バス停
	下り		1			1			1		1	1		1								7	交通センター
交通C～健軍～砥用学校前	上り		1	1				1			1	1			1	1						7	砥用学校前バス停
	下り		1	1	1				1		1	1					1					8	交通センター

※熊本方面を上りとして計上している。

資料：熊本バスホームページ

▼熊本バスの運行本数：土日祝

系統	上・下	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
交通C～辺場～砥用学校前	上り		1				1			1				1								4	砥用学校前バス停
	下り			1				1					1		1		1					5	交通センター
甲佐～内大臣～畑	上り																					0	ー
	下り																					0	ー
浜町～内大臣～甲佐	上り																					0	ー
	下り																					0	ー
交通C～辺場～浜町	上り			1	1		1					1		1								5	浜町バス停
	下り		1			1				1		1		1								5	交通センター
交通C～健軍～砥用学校前	上り		1	1		1			1		1		1									6	砥用学校前バス停
	下り				1			1			1	2				1						6	交通センター

※熊本方面を上りとして計上している。

資料：熊本バスホームページ

■運賃

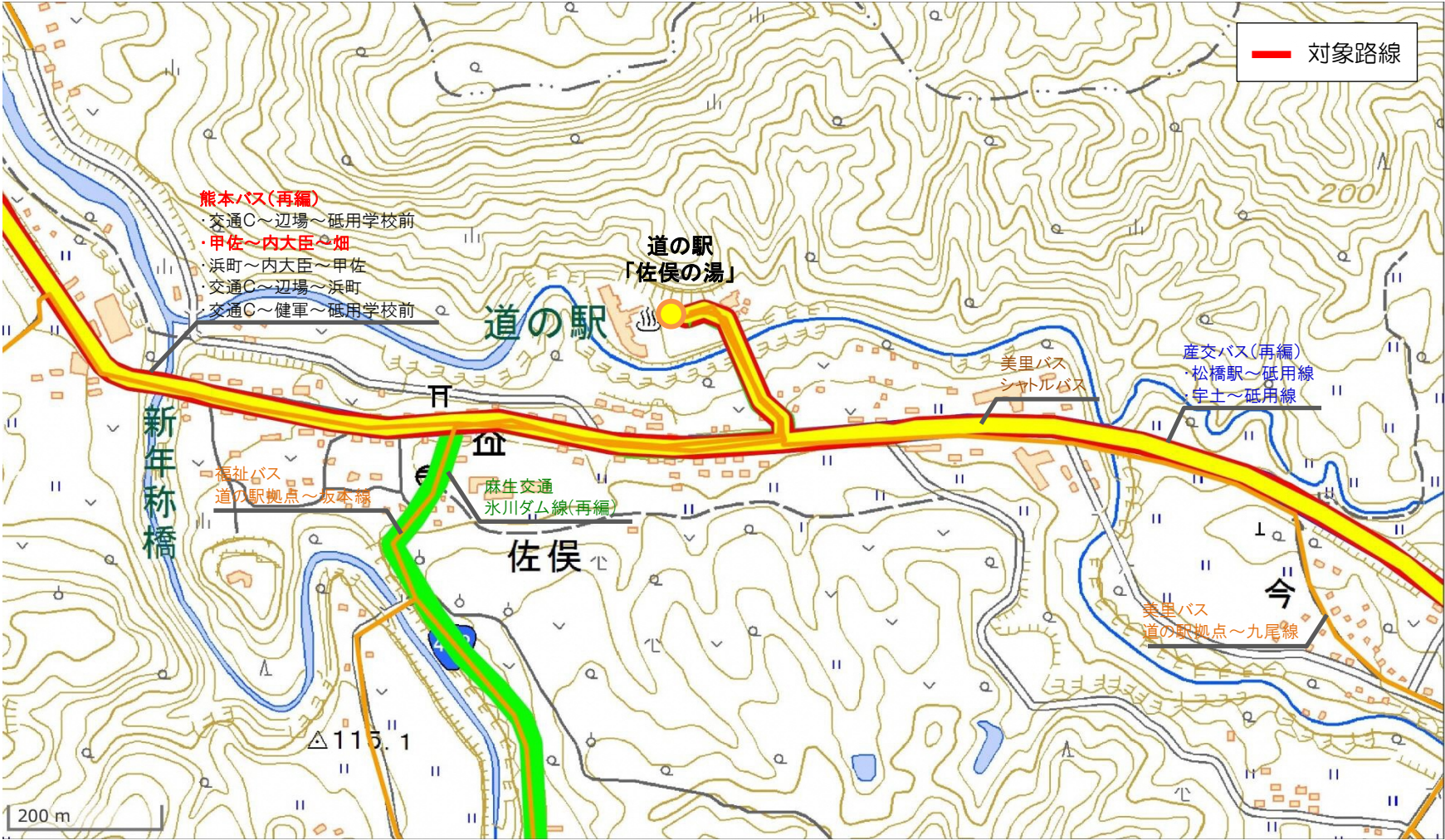
▼熊本バスの主要バス停間運賃

					(円)
				交通センター	
			イオンモール熊本	390	
		甲佐	540	760	
	佐俣の湯	290	690	930	
	砥用中央	240	430	810	1030
浜町	810	930	1060	1370	1560

資料：熊本バスホームページ

<table><tr><td>対象路線</td><td>甲佐～内大臣～畑線</td></tr><tr><td>路線の現状</td><td> ・ 著しい利用の低迷 当該路線の輸送量は0.1人と少ない。特に平均乗車密度は1.7人と乗合の体をなしていない。 ・ 持続可能性に乏しい 当該路線は毎年約470万円の赤字が発生しており、さらなる収支の改善が求められる </td></tr><tr><td>再編の内容</td><td> ・ 地区拠点への乗り入れによる美里バスとの円滑なネットワークの形成 路線の一部を変更し、道の駅拠点への乗り入れを行うことで、美里バス等との円滑なネットワークの形成を図る。 ・ 現状のサービス水準を維持 運行回数については現状のサービス水準を維持する。 </td></tr></table>	対象路線	甲佐～内大臣～畑線	路線の現状	・ 著しい利用の低迷 当該路線の輸送量は0.1人と少ない。特に平均乗車密度は1.7人と乗合の体をなしていない。 ・ 持続可能性に乏しい 当該路線は毎年約470万円の赤字が発生しており、さらなる収支の改善が求められる	再編の内容	・ 地区拠点への乗り入れによる美里バスとの円滑なネットワークの形成 路線の一部を変更し、道の駅拠点への乗り入れを行うことで、美里バス等との円滑なネットワークの形成を図る。 ・ 現状のサービス水準を維持 運行回数については現状のサービス水準を維持する。	<table><tr><td>現状</td><td></td></tr><tr><td>[運行回数] 平日:2便</td><td></td></tr></table>	現状		[運行回数] 平日:2便															
対象路線	甲佐～内大臣～畑線																								
路線の現状	・ 著しい利用の低迷 当該路線の輸送量は0.1人と少ない。特に平均乗車密度は1.7人と乗合の体をなしていない。 ・ 持続可能性に乏しい 当該路線は毎年約470万円の赤字が発生しており、さらなる収支の改善が求められる																								
再編の内容	・ 地区拠点への乗り入れによる美里バスとの円滑なネットワークの形成 路線の一部を変更し、道の駅拠点への乗り入れを行うことで、美里バス等との円滑なネットワークの形成を図る。 ・ 現状のサービス水準を維持 運行回数については現状のサービス水準を維持する。																								
現状																									
[運行回数] 平日:2便																									
<table><tr><td>運行区間</td><td>甲佐～内大臣～畑</td></tr><tr><td>運行距離</td><td>41.2km</td></tr><tr><td>主たる経由地</td><td>道の駅佐俣の湯、原町駐車場、美里物産館よんなっせ</td></tr><tr><td>幹線への接続</td><td>—</td></tr><tr><td>事業主体</td><td>熊本バス(株)</td></tr><tr><td>事業形態</td><td>路線定期運行</td></tr><tr><td>使用車両</td><td>中型バス</td></tr><tr><td>運行日</td><td>月～金曜日の平日</td></tr><tr><td>運行時間帯</td><td>次ページ参照</td></tr><tr><td>運賃</td><td>対距離運賃制 (次ページ参照)</td></tr></table>	運行区間	甲佐～内大臣～畑	運行距離	41.2km	主たる経由地	道の駅佐俣の湯、原町駐車場、美里物産館よんなっせ	幹線への接続	—	事業主体	熊本バス(株)	事業形態	路線定期運行	使用車両	中型バス	運行日	月～金曜日の平日	運行時間帯	次ページ参照	運賃	対距離運賃制 (次ページ参照)	<table><tr><td>再編後</td><td></td></tr><tr><td>[運行回数] 平日:2便</td><td></td></tr></table>	再編後		[運行回数] 平日:2便	
運行区間	甲佐～内大臣～畑																								
運行距離	41.2km																								
主たる経由地	道の駅佐俣の湯、原町駐車場、美里物産館よんなっせ																								
幹線への接続	—																								
事業主体	熊本バス(株)																								
事業形態	路線定期運行																								
使用車両	中型バス																								
運行日	月～金曜日の平日																								
運行時間帯	次ページ参照																								
運賃	対距離運賃制 (次ページ参照)																								
再編後																									
[運行回数] 平日:2便																									

再編後 拡大図



事業費と調達方法

運行経費	:	●●千円
事業収入	:	●●千円
必要な費用	:	●●千円
甲佐町負担	:	●●千円
山都町負担	:	●●千円
美里町負担	:	●●千円

※ 国庫補助額については現時点の見込額であり、記載のとおり調達されない場合、現状と同様のサービス水準を本計画の実施主体である美里町と関係者が調整を図るものとする。

補助要件

—

事業の効果

- 「①-2 町外移動を担う路線の年間利用者数」の維持：0 万人/年維持
- 「③各地区拠点のバス停留所の乗車人員数」の維持

事業の目標

- ・ 公共交通ネットワーク・サービスの維持

備考

—

■運行時間帯

▼熊本バスの運行本数：平日

系統	上・下	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
交通C～辺場～砥用学校前	上り		2	1	1	1	1		1		1		1	1	1	1						12	砥用学校前バス停
	下り			1			1	1								1	1					4	交通センター
甲佐～内大臣～畑	上り																					0	ー
	下り		2																			2	甲佐バス停
浜町～内大臣～甲佐	上り				1																	1	浜町バス停
	下り																					0	ー
交通C～辺場～浜町	上り		1	1			1			1			1	1	1							7	浜町バス停
	下り		1			1			1		1	1		1	1							7	交通センター
交通C～健軍～砥用学校前	上り		1	1				1			1	1			1	1						7	砥用学校前バス停
	下り		1	1	1				1		1		1	1			1					8	交通センター

※熊本方面を上りとして計上している。

資料：熊本バスホームページ

▼熊本バスの運行本数：土日祝

系統	上・下	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
交通C～辺場～砥用学校前	上り		1				1			1				1								4	砥用学校前バス停
	下り			1				1					1		1		1					5	交通センター
甲佐～内大臣～畑	上り																					0	ー
	下り																					0	ー
浜町～内大臣～甲佐	上り																					0	ー
	下り																					0	ー
交通C～辺場～浜町	上り			1	1		1				1		1									5	浜町バス停
	下り		1			1				1		1		1								5	交通センター
交通C～健軍～砥用学校前	上り		1	1		1			1		1	1										6	砥用学校前バス停
	下り				1			1			1	2				1						6	交通センター

※熊本方面を上りとして計上している。

資料：熊本バスホームページ

■運賃

▼熊本バスの主要バス停間運賃

(円)					
				交通センター	
			イオンモール熊本	390	
		甲佐	540	760	
	佐俣の湯	290	690	930	
	砥用中央	240	430	810	1030
浜町	810	930	1060	1370	1560

資料：熊本バスホームページ

<table><tr><td data-bbox="163 140 296 1927">対象路線</td><td data-bbox="296 140 632 1927">浜町～内大臣～甲佐線</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 191 296 621">路線の現状 ・ 著しい利用の低迷 当該路線の輸送量は0.3人と僅かとなっている。 ・ 持続可能性に乏しい 当該路線は毎年約210万円の赤字が発生しており、さらなる収支の改善が求められる。 </td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="163 621 296 1041">再編の内容 ・ 地区拠点への乗り入れによる美里バスとの円滑なネットワークの形成 路線の一部を変更し、道の駅拠点への乗り入れを行うことで、美里バス等との円滑なネットワークの形成を図る。 ・ 現状のサービス水準を維持 運行回数については現状のサービス水準を維持する。 </td></tr><tr><td data-bbox="163 1041 296 1927">運行区間</td><td data-bbox="296 1041 632 1110">浜町～内大臣～甲佐</td></tr><tr><td data-bbox="163 1110 296 1180">運行距離</td><td data-bbox="296 1110 632 1180">39.9km</td></tr><tr><td data-bbox="163 1180 296 1291">主たる経由地</td><td data-bbox="296 1180 632 1291">道の駅佐俣の湯、原町駐車場、美里物産館よんなっせ</td></tr><tr><td data-bbox="163 1291 296 1381">幹線への接続</td><td data-bbox="296 1291 632 1381">—</td></tr><tr><td data-bbox="163 1381 296 1453">事業主体</td><td data-bbox="296 1381 632 1453">熊本バス(株)</td></tr><tr><td data-bbox="163 1453 296 1524">事業形態</td><td data-bbox="296 1453 632 1524">路線定期運行</td></tr><tr><td data-bbox="163 1524 296 1593">使用車両</td><td data-bbox="296 1524 632 1593">中型バス</td></tr><tr><td data-bbox="163 1593 296 1665">運行日</td><td data-bbox="296 1593 632 1665">月～金曜日の平日</td></tr><tr><td data-bbox="163 1665 296 1736">運行時間帯</td><td data-bbox="296 1665 632 1736">次ページ参照</td></tr><tr><td data-bbox="163 1736 296 1927">運賃</td><td data-bbox="296 1736 632 1927">対距離運賃制 (次ページ参照)</td></tr></table>	対象路線	浜町～内大臣～甲佐線	路線の現状 ・ 著しい利用の低迷 当該路線の輸送量は0.3人と僅かとなっている。 ・ 持続可能性に乏しい 当該路線は毎年約210万円の赤字が発生しており、さらなる収支の改善が求められる。		再編の内容 ・ 地区拠点への乗り入れによる美里バスとの円滑なネットワークの形成 路線の一部を変更し、道の駅拠点への乗り入れを行うことで、美里バス等との円滑なネットワークの形成を図る。 ・ 現状のサービス水準を維持 運行回数については現状のサービス水準を維持する。		運行区間	浜町～内大臣～甲佐	運行距離	39.9km	主たる経由地	道の駅佐俣の湯、原町駐車場、美里物産館よんなっせ	幹線への接続	—	事業主体	熊本バス(株)	事業形態	路線定期運行	使用車両	中型バス	運行日	月～金曜日の平日	運行時間帯	次ページ参照	運賃	対距離運賃制 (次ページ参照)	<table><tr><td data-bbox="632 140 727 1927">現状</td><td data-bbox="727 140 2864 1041"></td></tr><tr><td data-bbox="632 1041 727 1927">再編後</td><td data-bbox="727 1041 2864 1927"></td></tr></table>	現状		再編後	
対象路線	浜町～内大臣～甲佐線																														
路線の現状 ・ 著しい利用の低迷 当該路線の輸送量は0.3人と僅かとなっている。 ・ 持続可能性に乏しい 当該路線は毎年約210万円の赤字が発生しており、さらなる収支の改善が求められる。																															
再編の内容 ・ 地区拠点への乗り入れによる美里バスとの円滑なネットワークの形成 路線の一部を変更し、道の駅拠点への乗り入れを行うことで、美里バス等との円滑なネットワークの形成を図る。 ・ 現状のサービス水準を維持 運行回数については現状のサービス水準を維持する。																															
運行区間	浜町～内大臣～甲佐																														
運行距離	39.9km																														
主たる経由地	道の駅佐俣の湯、原町駐車場、美里物産館よんなっせ																														
幹線への接続	—																														
事業主体	熊本バス(株)																														
事業形態	路線定期運行																														
使用車両	中型バス																														
運行日	月～金曜日の平日																														
運行時間帯	次ページ参照																														
運賃	対距離運賃制 (次ページ参照)																														
現状																															
再編後																															

再編後 拡大図



事業費と調達方法

運行経費	:	●●千円
事業収入	:	●●千円
必要な費用	:	●●千円
甲佐町負担	:	●●千円
山都町負担	:	●●千円
美里町負担	:	●●千円

※ 国庫補助額については現時点の見込額であり、記載のとおり調達されない場合、現状と同様のサービス水準を本計画の実施主体である美里町と関係者が調整を図るものとする。

補助要件

—

事業の効果

- 「①-2 町外移動を担う路線の年間利用者数」の維持：0.1 万人/年維持
- 「③各地区拠点のバス停留所の乗車人員数」の維持

事業の目標

- ・ 公共交通ネットワーク・サービスの維持

備考

—

■運行時間帯

▼熊本バスの運行本数：平日

系統	上・下	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
交通C～辺場～砥用学校前	上り		2	1	1	1	1		1		1		1	1	1	1						12	砥用学校前バス停
	下り				1			1								1	1					4	交通センター
甲佐～内大臣～畑	上り																					0	ー
	下り		2																			2	甲佐バス停
浜町～内大臣～甲佐	上り				1																	1	浜町バス停
	下り																					0	ー
交通C～辺場～浜町	上り		1	1			1			1			1	1	1							7	浜町バス停
	下り		1			1			1		1	1		1	1							7	交通センター
交通C～健軍～砥用学校前	上り		1	1				1			1	1			1	1						7	砥用学校前バス停
	下り		1	1	1				1		1		1	1			1					8	交通センター

※熊本方面を上りとして計上している。

資料：熊本バスホームページ

▼熊本バスの運行本数：土日祝

系統	上・下	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
交通C～辺場～砥用学校前	上り		1				1			1				1								4	砥用学校前バス停
	下り			1				1					1		1		1					5	交通センター
甲佐～内大臣～畑	上り																					0	ー
	下り																					0	ー
浜町～内大臣～甲佐	上り																					0	ー
	下り																					0	ー
交通C～辺場～浜町	上り			1	1		1				1		1									5	浜町バス停
	下り			1		1				1		1		1								5	交通センター
交通C～健軍～砥用学校前	上り		1	1		1			1		1	1										6	砥用学校前バス停
	下り				1			1			1	2				1						6	交通センター

※熊本方面を上りとして計上している。

資料：熊本バスホームページ

■運賃

▼熊本バスの主要バス停間運賃

					(円)
				交通センター	
			イオンモール熊本	390	
		甲佐	540	760	
	佐俣の湯	290	690	930	
	砥用中央	240	430	810	1030
浜町	810	930	1060	1370	1560

資料：熊本バスホームページ

対象路線	交通 C～辺場～浜町線	現状
路線の現状		
・ 著しい利用の低迷 当該路線の輸送量は 19.8 人と少ない。特に平均乗車密度は 3.2 人と少なくなっている ・ 持続可能性に乏しい 当該路線は毎年約 4,150 万円の赤字が発生しており、さらなる収支の改善が求められる		
再編の内容		 [運行回数] 平日:7 往復、土・日・祝:5 往復
運行区間	交通 C～辺場～浜町	
運行距離	62.8km	
主たる 経由地	道の駅佐俣の湯、原町 駐車場、美里物産館よ んなっせ	
幹線への 接続	—	
事業主体	熊本バス(株)	
事業形態	路線定期運行	
使用車両	中型バス	
運行日	毎日	
運行時間帯	次ページ参照	
運賃	対距離運賃制 (次ページ参照)	

再編後	
 [運行回数] 平日:7 往復、土・日・祝:5 往復	

再編後 拡大図



事業費と調達方法

運行経費	:	●●千円
事業収入	:	●●千円
必要な費用	:	●●千円
国負担	:	●●千円
熊本市負担	:	●●千円
嘉島町負担	:	●●千円
御船町負担	:	●●千円
甲佐町負担	:	●●千円
山都町負担	:	●●千円
美里町負担	:	●●千円

※ 国庫補助額については現時点の見込額であり、記載のとおり調達されない場合、現状と同様のサービス水準を本計画の実施主体である美里町と関係者が調整を図るものとする。

補助要件

—

事業の効果

- 「①-2 町外移動を担う路線の年間利用者数」の維持：9.7 万人/年維持
- 「③各地区拠点のバス停留所の乗車人員数」の維持

事業の目標

- ・公共交通ネットワーク・サービスの維持

備考

—

■運行時間帯

▼熊本バスの運行本数：平日

系統	上・下	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
交通C～辺場～砥用学校前	上り		2	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1					12	砥用学校前バス停
	下り				1			1			1		1	1	1	1	1					4	交通センター
甲佐～内大臣～畑	上り																					0	ー
	下り		2																			2	甲佐バス停
浜町～内大臣～甲佐	上り				1																	1	浜町バス停
	下り																					0	ー
交通C～辺場～浜町	上り		1	1			1			1			1	1	1							7	浜町バス停
	下り		1			1			1		1	1		1	1							7	交通センター
交通C～健軍～砥用学校前	上り		1	1				1			1	1			1	1						7	砥用学校前バス停
	下り		1	1	1				1		1		1	1			1					8	交通センター

※熊本方面を上りとして計上している。

資料：熊本バスホームページ

▼熊本バスの運行本数：土日祝

系統	上・下	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
交通C～辺場～砥用学校前	上り		1				1			1				1								4	砥用学校前バス停
	下り			1				1					1		1		1					5	交通センター
甲佐～内大臣～畑	上り																					0	ー
	下り																					0	ー
浜町～内大臣～甲佐	上り																					0	ー
	下り																					0	ー
交通C～辺場～浜町	上り			1	1		1					1		1								5	浜町バス停
	下り		1			1				1		1		1								5	交通センター
交通C～健軍～砥用学校前	上り		1	1		1			1		1		1									6	砥用学校前バス停
	下り				1			1			1	2				1						6	交通センター

※熊本方面を上りとして計上している。

資料：熊本バスホームページ

■運賃

▼熊本バスの主要バス停間運賃

					(円)
				交通センター	
			イオンモール熊本	390	
		甲佐	540	760	
	佐俣の湯	290	690	930	
	砥用中央	240	430	810	1030
浜町	810	930	1060	1370	1560

資料：熊本バスホームページ



事業費と調達方法

運行経費	:	●●千円
事業収入	:	●●千円
必要な費用	:	●●千円
国負担	:	●●千円
熊本市負担	:	●●千円
嘉島町負担	:	●●千円
御船町負担	:	●●千円
甲佐町負担	:	●●千円
美里町負担	:	●●千円

※ 国庫補助額については現時点の見込額であり、記載のとおり調達されない場合、現状と同様のサービス水準を本計画の実施主体である美里町と関係者が調整を図るものとする。

補助要件

—

事業の効果

- 「①-2 町外移動を担う路線の年間利用者数」の維持：7.2 万人/年維持
- 「③各地区拠点のバス停留所の乗車人員数」の維持

事業の目標

- ・ 公共交通ネットワーク・サービスの維持

備考

—

■運行時間帯

系統	上・下	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
交通C～辺場～砥用学校前	上り		2	1	1	1	1		1		1		1	1	1	1						12	砥用学校前バス停
	下り				1			1									1	1				4	交通センター
甲佐～内大臣～畑	上り																					0	ー
	下り		2																			2	甲佐バス停
浜町～内大臣～甲佐	上り				1																	1	浜町バス停
	下り																					0	ー
交通C～辺場～浜町	上り		1	1			1			1			1	1	1							7	浜町バス停
	下り		1			1			1		1	1	1	1								7	交通センター
交通C～健軍～砥用学校前	上り		1	1				1			1	1			1	1						7	砥用学校前バス停
	下り		1	1	1				1		1	1	1	1			1					8	交通センター

※熊本方面を上りとして計上している。

資料：熊本バスホームページ

▲熊本バスの運行本数：土日祝

系統	上・下	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	計	集計地点
交通C～辺場～砥用学校前	上り		1				1			1				1								4	砥用学校前バス停
	下り			1				1					1		1		1					5	交通センター
甲佐～内大臣～畑	上り																					0	ー
	下り																					0	ー
浜町～内大臣～甲佐	上り																					0	ー
	下り																					0	ー
交通C～辺場～浜町	上り			1	1		1					1		1								5	浜町バス停
	下り		1			1				1		1		1								5	交通センター
交通C～健軍～砥用学校前	上り		1	1		1			1		1		1									6	砥用学校前バス停
	下り				1			1			1	2				1						6	交通センター

※熊本方面を上りとして計上している。

資料：熊本バスホームページ

■運賃

▼熊本バスの主要バス停間運賃

					(円)
				交通センター	
			イオンモール熊本	390	
		甲佐	540	760	
	佐俣の湯	290	690	930	
	砥用中央	240	430	810	1030
浜町	810	930	1060	1370	1560

資料：熊本バスホームページ

3. 事業実施スケジュール

各事業の実施スケジュールを以下に示す。

表 再編実施事業スケジュール

		2018	2019	2020	2021
主な再編事業		H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
①各集落と地区拠点間を結ぶ公共交通の導入/町内公共交通の一元化					
1-1 美里バス・中央拠点～下原線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-2 美里バス・中央拠点～岩下線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-3 美里バス・中央拠点～西山線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-4 美里バス・中央拠点～中小路線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-5 美里バス・中央拠点～白石野線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-6 美里バス・中央拠点～八幡原団地線	区域運行の導入	検討		実 施	
1-7 美里バス・有安線	区域運行の導入	検討		実 施	
1-8 美里バス・道の駅拠点～九尾線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-9 美里バス・道の駅拠点～坂本線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-10 美里バス・砥用拠点～上中線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-11 美里バス・道の駅拠点～木早川内公民館前線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-12 美里バス・砥用拠点～高村線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-13 美里バス・砥用拠点～安掛線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-14 美里バス・砥用拠点～中岳線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-15 美里バス・砥用拠点～中川原線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-16 美里バス・砥用拠点～中畑線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-17 美里バス・砥用拠点～福良線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-18 美里バス・砥用拠点～幕橋横線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-19 美里バス・砥用拠点～明無瀬～黒茂線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-20 美里バス・東部拠点～庵室線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-21 美里バス・東部拠点～貫平線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-22 美里バス・東部拠点～山出線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-23 美里バス・東部拠点～下福良線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-24 美里バス・東部拠点～小崎線	区域運行への変更	検討		実 施	
1-25 美里バス・東部拠点～内大臣線	区域運行への変更	検討		実 施	

		2018	2019	2020	2021
主な再編事業		H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
②域内交通と地域間幹線等の円滑なダイヤ接続					
2-1 美里バス・シャトルバス	区域運行の導入	検討		実 施	
③町外との移動を担い地区拠点間を結ぶ路線バスの維持					
3-1 路線バス・氷川ダム線	運行ルートの変更	検討		実 施	
3-2 路線バス・鶴場線	現状の運行サービスの維持	検討		実 施	
3-3 路線バス・松橋駅前～砥用中央線	運行ルートの変更	検討		実 施	
3-4 路線バス・宇土本町二～砥用中央線	運行ルートの変更	検討		実 施	
3-5 路線バス・交通C～辺場～砥用学校前線	運行ルートの変更	検討		実 施	
3-6 路線バス・甲佐～内大臣～畑線	運行ルートの変更	検討		実 施	
3-7 路線バス・浜町～内大臣～甲佐線	運行ルートの変更	検討		実 施	
3-8 路線バス・交通C～辺場～浜町線	運行ルートの変更	検討		実 施	
3-9 路線バス・交通C～健軍～砥用学校前線	運行ルートの変更	検討		実 施	

		2018	2019	2020	2021
関連事業		H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
④地区拠点の設定と機能強化					
4-1 道の駅拠点		整備		運 用	
4-2 中央拠点		整備		運 用	
4-3 砥用地区拠点		整備		運 用	
4-4 東部拠点		整備		運 用	
⑤ネットワークの再編に関連して実施する事業					
5-1 時刻表の改良		作成		運 用	
5-2 バスロケの導入			検討	導入・運用	
5-3 バス停の共同利用・名称の統合		統合		運 用	
5-4 情報提供の充実		準備		運 用	
5-5 情報の共有化		準備		運 用	
5-6 乗り方教室		準備		年2回程度実施	
5-7 高齢者バスハイク		準備		年2回程度実施	
5-8 免許返納者への特典授与		準備		運 用	